

| | | | | |
|-----------------|------|----|-------|----|
| 【担当教員名】 松本京介 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 社会 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

心理学Ⅰの学習内容を基に、発達と臨床に焦点におき、さらに専門的な心理学の知識を身につけるとともに、その知識について批判的に検討する力を養うことも目標とする。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 社会福祉現場における心理的援助の意義と重要性について理解する。
2. 心理学の基本概念を理解し、人間を心理学的にとらえる考え方を身につける。
3. 生涯発達の観点から、それぞれの発達期の特徴と臨床的問題について理解し、説明できる。
4. 心理的援助として心理検査や心理療法について理解し、それぞれについて説明できる。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|----|---------------------------|-----|--------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | 社会福祉における心理的援助 | 1 | 講義 |
| 2 | 人間の心理学的理解（感覚と知覚、動機づけ、感情） | 2 | 講義 |
| 3 | 人間の心理学的理解（学習と記憶、知能、人格、適応） | 2 | 講義 |
| 4 | 人間の生涯発達（乳幼児期・児童期の発達） | 3 | 講義 |
| 5 | 人間の生涯発達（乳幼児期・児童期の臨床） | 3 | 講義 |
| 6 | 人間の生涯発達（青年期の発達） | 3 | 講義 |
| 7 | 人間の生涯発達（青年期の臨床） | 3 | 講義 |
| 8 | 人間の生涯発達（成人期・高齢期の発達） | 3 | 講義 |
| 9 | 人間の生涯発達（成人期・高齢期の臨床） | 3 | 講義 |
| 10 | 心理学的評価（心理検査法、面接法） | 4 | 講義 |
| 11 | 心理的援助の理論と技法 1 | 4 | 講義 |
| 12 | 心理的援助の理論と技法 2 | 4 | 講義 |
| 13 | 心理的援助の実際 1 | 4 | 講義 |
| 14 | 心理的援助の実際 2 | 4 | 講義 |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|-------------------|------------------|------------|-------|---------------|
| 教科書 (必ず購入する書籍) | ソーシャルワーカーのための心理学 | 庄司順一・西澤哲 編 | 有斐閣 | 2001年 2000円＋税 |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | 適宜プリントを配布する。 | | | |

| | |
|--------------|---|
| 【評価方法】 | 【履修上の留意点】 |
| 定期試験 出席状況 | 多岐に渡る心理学の分野を紹介するため、週によって内容が変化する。 心理学に関する総合的な理解を得るためにも、欠席がないようにしてもらいたい。 |